

平成 26 年日本熱物性学会第 3 回 (2014-3) 役員会議事録

日時:平成 26 年 9 月 20 日(土) 役員会 14:00~16:00

場所:芝浦工業大学豊洲キャンパス 芝浦キャンパス 8F 会議室

出席者:(五十音順・敬称略)

| | |
|-----------------------|--------------------|
| 赤松正人 (山形大学) | 池内賢朗 (アルバック理工) |
| 遠藤理恵 (東京工業大学) | 大村高弘 (ニチアス) |
| 小原拓 (東北大学) | 迫田直也 (九州大学) |
| 佐藤讓 (東北大学) | 田口博幸 (京都電子工業) |
| 花村克悟 (東京工業大学) | 牧野俊郎 (近畿職業能力開発大学校) |
| 水野章敏 (学習院大学) | 宮崎康次 (九州工業大学) |
| 宮本泰行 (富山県立大学) | 元祐昌廣 (東京理科大学) |
| 森田慎一 (米子工業高等専門学校) | 桃木悟 (長崎大学) |
| 山田修史(産業技術総合研究所) | 山田純 (芝浦工業大学) |
| 山田盛二 (サンタバーキングラボラトリー) | 山田雅彦 (北海道大学) |
| 吉田篤正 (大阪府立大学) | |

審議事項:

吉田会長より挨拶があり, 配布資料の確認が行われた.

議 題:

(1) 前回議事録確認……………資料番号:14-4-1

元祐評議員より, 資料 14-4-1 に基づき, 前回議事録の確認があり, 一部変更の後に了承された.

(2) 第 35 回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号:14-4-2

花村第 35 回シンポジウム実行委員会委員長より, 資料 14-4-2 に基づき, 第 35 回シンポジウムの準備状況について報告がなされた. 講演取り下げ等があり講演件数は 129 件になり, 未投稿 12 件とのこと. また, 特別ワークショップの最終プログラムが報告された. 会期が日祝日になるため, 弁当を販売すること, 懇親会で東工大学長の挨拶があり, 催物も企画中であること, 最終日の午後に見学ツアーを行うこと, 講演論文集は冊子体, USB, Web の 3 形態で提供予定とのが報告された. 特別講演は, 岡田典弘氏 (東工大名誉教授) によるシーラカンス研究に関するもの, 広瀬茂男氏 (東工大名誉教授) によるロボット工学に関するものの 2 件を予定.

(3) 総会に関する事項……………資料番号:14-4-3~5

学会賞候補者・名誉員顕彰者

佐藤表彰委員会委員長より, 資料 14-4-3 に基づき, 学会賞候補者について報告があった. 熱物性賞 1 件, 論文賞 2 件を, 奨励賞 2 件, 功労賞 2 件, 名誉員 1 名が推薦され, 承認された. 35 回シンポジウム総会で表彰予定.

第36期役員候補者

小原事務局担当副会長より、資料 14-4-4 に基づき、第36期役員候補者が提示された。次期シンポジウムの福山実行委員長は本学会の監事であるため、別にシンポジウム担当理事を推薦すること。続いて、理事会にて推薦された会長・副会長・監事の候補者が紹介され、承認された。35回シンポジウム総会にて了承されることとなった。

総会資料と進行

小原事務局担当副会長より、資料 14-4-5 に基づき、第35回シンポジウムで開催される総会の進行表および資料案が提示され、一部修正の後に了承された。表彰の論文賞に関して、応募段階での代表者が論文の第1著者とで順序が一致しない件について意見が出され、議案書では代表著者、共著者、と記載し、次年度以降見直すことになった。

(4)第36回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号: 14-4-6

小原事務局担当副会長より、資料 14-4-6 に基づき、第36回シンポジウムの準備状況について報告がなされた。会場が東北キャンパス片平キャンパスに変更され、片平さくらホールを中心に開催予定。

(5)各種委員会報告……………資料番号: 14-4-7-1~4編集委員会

小原事務局担当副会長より、資料 14-4-7-1 に基づいて、活動報告があった。11月号の目次案が提示された。棚澤一郎氏の追悼文を4件、さーもふいじしすと、めるていんぐぼいんとを1件ずつ掲載予定。

表彰委員会

佐藤表彰委員会委員長より、活動報告があった。

熱物性値サービス委員会

山田熱物性値サービス委員会委員長より、資料 14-4-7-2 に基づいて、報告があった。講演論文集の web 公開から10ヶ月経過し、総ダウンロード論文数は607報とのこと。熱物性データベースのサーバが不安定なので対策を検討中。

活動委員会

桃木活動委員会委員長より、資料 14-4-7-3 に基づいて、活動報告があった。第35回シンポジウムでのベストプレゼンテーション賞の審査概要が提示された。審査のために審査委員会を設立する予定であることが報告され、採点表が一部修正の後に了承された。

広報委員会

宮崎広報委員会委員長より、資料 14-4-7-4 に基づいて、活動報告があった。

(6)研究分科会報告……………資料番号: 14-4-8水の特異な熱・輸送特性と応用に関する研究会

山田東京連絡事務担当理事より、資料 14-4-8 に基づいて、活動報告があり、シンポジウム前日に開催予定の研究会の詳細が紹介された。

高温融体物性と材料プロセス

佐藤表彰委員会委員長および遠藤評議員より、活動報告があった。

ふく射性質とその放射制御に関する研究会

花村シンポジウム担当より、活動報告があった。2014年8月2-3日に勉強会を開催したとのこと。また、2014年11月8-9日の熱工学コンファレンスでOSを企画する。

(7)事務局報告……………資料番号:14-4-9~10

小原事務局担当より、共催・協賛、会員異動について報告があった。また、会誌8月号の表紙に一部修正があり、11月号に訂正シールを同封する旨が報告された。

以上